

あの頃の自分に出会う旅 みやぎの明治村

登米市歴史資料館・高倉勝子美術館

登米市 登米町（とめ とよままち）

〈観光、イベントなどのお問い合わせは〉
（株）とよま振興公社
（とよま観光物産センター・遠山之里内）
〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池桜小路2-1
TEL:0220-52-5566　FAX:0220-52-2630
ホームページ　http://toyoma.co.jp

歴史資料館・髙倉勝子美術館観覧料

■各施設単独観覧料

単位:円

対称 ＼ 施設		教育資料館	登米懐古館	警察資料館	水沢県庁記念館	伝統芸能伝承館(森舞台)	髙倉勝子美術館
個人	一般（学生含む）	400	400	300	200	200	200
	高校生	300	300	200	150	150	150
	小・中学生	200	200	150	100	100	100
団体	一般（学生含む）	320	320	240	160	160	160
	高校生	240	240	160	120	120	120
	小・中学生	160	160	120	80	80	80

※1団体20名様以上で団体扱いとなります。

■6施設共通観覧料
（教育資料館・警察資料館・水沢県庁記念館・登米懐古館・伝統芸能伝承館・髙倉勝子美術館）

区分	個人	団体
一般（学生を含む）	1000	800
高校生	750	600
小・中学生	500	400

●開館時間／AM9:00～PM4:30まで
●休 館 日／12月28日～翌年1月4日まで（教育資料館を除く）

観光の拠点

Tourist Information 観光案内所

とよま観光物産センター「遠山之里（とおやまのさと）」



観光駐車場・観光案内所・お土産（売店）・お食事

みやぎの明治村の観光拠点施設で、登米市内唯一の観光案内所です。「みやぎの明治村」各資料館の入館券をご購入いただけるほか、売店では登米の名物「あぶら麸」や「はっと」などの地場産品・お土産品を取り揃えております。併設のお食事処「蔵.ら～」では、郷土料理などをお楽しみいただけます。（団体様要予約）

武家屋敷「春蘭亭（しゅんらんてい）」



TEL:0220-52-2960
登米町寺池桜小路79
●遠山之里から／徒歩3分





武家屋敷通り

江戸時代中期以降の武家屋敷として登米町で唯一一般公開しています。春蘭亭の名はこの地に自生する春蘭の花を加工した「春蘭茶」を提供することから名付けられました。囲炉裏カフェとして春蘭茶・抹茶などが楽しめ、見学の合間のお休み処として愛されています。

観光サービス

■観光ガイド

予約が必要です。（予約が多い場合は応じかねることもあります。）
●ご案内時間……概ね2時間（見学箇所により短縮あり）
●ご利用料金……ガイド1名につき3,000円
●ご予約先……（株）**とよま振興公社**
TEL:0220-52-5566 FAX:0220-52-2630



とよま観光案内人倶楽部

［その他の民間資料館］

国登録有形文化財
■『海老喜 蔵の資料館』



天保4年創業、180余年の歴史を誇る「海老喜」が明治41年までお酒を仕込んでいた蔵を公開。平成4年に公開するまでの80年間ほとんど人が入らなかった建物を説明をしながらご案内します。隣の店舗では「みそアイス」も大人気。
登米町寺池三日町22
TEL0120-2015-77　料金:200円

国登録有形文化財
■『町屋ミュージアム 廻船問屋 菅勘資料館』



伊達政宗の狙いは,領内の新田開発で収穫された米を北上川を利用し、廻船する巨大プロジェクトであった。江戸・明治時代、北上川中流の交易の要として栄えた登米。平田舟で石巻まで穀物・繭・生糸を運び、仙石船で江戸深川・横浜へと取引を広めた「廻船問屋菅野屋勘兵衛」を今に伝える資料館です。
登米町寺池中町24　料金:300円

※要予約（1週間前までにメールで問い合わせ）
toyomameijivillage@gmail.com

ACCESS



〈交通のご案内〉

■新幹線でお越しの場合
くりこま高原駅から車で登米方面へ約40分

■電車でお越しの場合
気仙沼線　柳津駅から佐沼方面行バスで約10分

■車でお越しの場合
三陸自動車道　登米ICから登米方面へ約5分
又はみやぎ県北道路築館東ICから登米ICまで約25分

■高速バスでお越しの場合
仙台駅前よりとよま明治村行約90分



みやぎの明治村 デジタルマップ

さらに歴史とふれあえるマップ

1 教育資料館

旧登米高等尋常小学校校舎、国指定重要文化財《建造物》

TEL:0220-52-2496　登米町寺池桜小路6番地
●見学所要時間／30分　●入館料／400円　●遠山之里から／徒歩2分

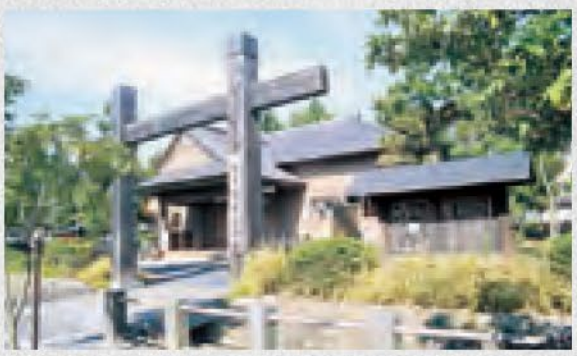


明治21年（1888年）に建てられ、明治の洋風学校を代表する建築物として昭和56年国の重要文化財に指定されました。設計監督は宮城県技手（県庁職員）山添喜三郎によるもので、純木造の2階建て、南を正面にコの字型をとり、1階2階ともに吹き抜けの片廊下式となってます。また、採光として教室は両側にガラス窓を贅沢に使用しています。特徴的なのが2階バルコニーで、校舎全体の中心的な位置にあり、シンボル的な役割を果たしています。左右対象の東西昇降口は六角形を半割にしたトラス工法をもちい、屋根は寄棟瓦葺きのシンプルさで全体を機能的にまとめあげた建築です。昭和48年まで使用された教室をそのまま残した再現教室や各時代の教科書・教材・器具など懐かしい展示品もご覧になることができます。

2 水沢県庁記念館

旧水沢県庁庁舎、市指定有形文化財《建造物》

TEL:0220-52-2160　登米町寺池桜小路1番地5
●見学所要時間／15分　●入館料／200円　●遠山之里から／徒歩2分



明治2年（1869年）廃藩置県に先駆けて「登米県」となりました。明治4年県庁舎の建設に着工し翌年落成。その間に「水沢県」と県名が変わり水沢県庁舎として明治8年まで使用されました。「水沢県」の範囲は旧仙台藩領内であった現宮城県北部と岩手県南部を管轄する地域をいいます。江戸時代を思わせる純和風の日本建築で本庁舎は県内官公庁建築の県政史上貴重な建物です。その後庁舎は幾度かの改修をしながら小学校、裁判所として長く使われました。

3 登米懐古館

TEL:0220-52-3578　登米町寺池桜小路72番地6
●見学所要時間／30分　●入館料／400円　●遠山之里から／徒歩3分



昭和36年、寺池城址に旧登米町名誉町民の渡辺政人氏の寄贈によって建てられましたが、令和元年9月、伝統芸能伝承館「森舞台」も手掛けた建築家隈研吾氏の設計により移転新築しました。登米伊達家ゆかりの鎧や兜、刀剣、絵画など城下町であった当時を偲ばせる貴重な品々を展示しています。登米町産天然スレート葺きの屋根は街並みと調和し、武家屋敷通り側の表門から入る日本庭園は落ち着いた佇まいです。地域の歴史を紐解く企画展や、伝承芸能の野外公演、野点なども見逃せない観光スポットです。

4 登米市髙倉勝子美術館「桜小路」

TEL:0220-52-2755　登米町寺池桜小路88番地1
●見学所要時間／15分　●入館料／200円　●遠山之里から徒歩2分



平成21年（2009年）に設立された登米町の出身で独自の表現を追求し続けた日本画家髙倉勝子（1921～2015）の作品を展示する美術館です。主に河北美術展、県芸術祭に出品され数多くの賞を授けられた作品を収蔵・展示しております。みちのくの人々の古き良き暮らしを、岩絵具を用いてまた時には水墨で描いた数々の佳品の他、自身の被爆体験を描いた「原爆の図」（常設）は必見です。中央から遠く離れたこの地に生まれ育ったひとりの女性の類まれな画才の精華をぜひご覧ください。館内多目的室では随時登米ゆかりの作家の展示がお楽しみ頂けます。

5 警察資料館

旧登米警察署庁舎、県指定有形文化財《建造物》

TEL:0220-52-2595　登米町寺池中町3番地
●見学所要時間／15分　●入館料／300円　●遠山之里から／徒歩10分・車3分（駐車場有）



登米警察署として明治22年（1889年）に建てられ昭和43年まで使用されました。和と洋を取り混ぜた美しい建築で、現在もほとんどそのままの形を残しています。設計監督は教育資料館と同じ宮城県技手山添喜三郎氏によるもので、木造2階建て下見板張りペンキ塗り、寄棟の瓦葺き、突出した玄関は上下とも吹き抜けです。また2階のバルコニーは遠見台とも呼ばれ船着場や繁華街を見ることができました。明治の留置場、取調べ所が復元され、昭和55年に配備されたパトカーや白バイも1階に展示されています。敷地内にある火の見櫓は消防が警察の業務であったことや、消防活動組織の歴史を残す建造物となっています。昭和63年県の指定有形文化財。

6 伝統芸能伝承館「森舞台」

平成9年日本建築学会賞受賞

TEL:0220-52-3927　登米町寺池上町42番地
●見学所要時間／15分　●入館料／200円　●遠山之里から／徒歩15分・車3分（駐車場有）



登米町には江戸時代から伝わる「登米能」をはじめ「岡谷地南部神楽」や「とよま囃子」などの伝統芸能が今日まで町民の手で大切に受け継がれてきました。伝統芸能伝承館「森舞台」は地域文化活動拠点として、本格的な能舞台を備え平成8年（1996年）にオープンしました。設計者は建築家隈研吾氏、舞台正面の鏡板作成は日本画家千住博氏、展示室デザインはアートディレクター原研哉氏によります。演能は地元の謡曲会が年を通して稽古を重ね、毎秋の「登米薪能」で上演しています。能に限らず各種伝統芸能のための施設として市民に公開され愛されています。